

滋賀県議会議員

九里学レポート

Kunori Manabu Report

令和5年
立秋号
VOL.51

くらしのご相談やご意見など
ございましたらお気軽に

FB(フェイスブック)
日々更新中
kunori-try.jp

くのり学事務所へ

ホームページ
みてね!!
くのり学

TEL077-558-1809/FAX077-558-0665

(事務所・自宅)〒520-3001 滋賀県栗東市東坂409-3 ☎8313@kunori-try.jp <発行責任者/九里 学・編集責任者/米津 進>

残暑お見舞い
申しあげます

県政がラス張り宣言
生活者の視点で目に見える
ひらかれた政治のために

くのり まなぶ
滋賀県議会議員 九里 学

新琵琶湖文化館

2027年12月
オープンに向けて
建設スタート

滋賀を文化先進県へ

『希望の船』をイメージし、
地上4階建て延床面積
約6,600平方メートル

外観・西南側遠景イメージ

外観北側イメージ

【役職】
・関西広域連合議会(滋賀県代表) ・教育・文化スポーツ常任委員会 ・行財政・防災危機管理対策特別委員会
・チーム滋賀県議団副代表 ・滋賀県ラグビーフットボール協会副会長 ・滋賀県スポーツ振興議員連盟副代表
・滋賀県障害児者と父母の会連合会特別会員 ・栗東柔道スポーツ少年団育成会名誉会長
・栗東市卓球協会会長 ・栗東音楽振興会(RISS)顧問 ・栗東消費生活研究会会員 他

九里学 令和5年 5月~8月 レポート

栗東市民さんの県要望や地域課題を
県執行部に届け解決策を協議する
(5月~8月・県庁)

駅や街頭での県政報告も早や
17年目を数える(年中・栗東市内)

農地を守り「稼げる」
農業振興に注力する
(6月・金勝地域)

数年ぶりに催された地域・団体の夏まつりに
お招きいただき、市民さんと交流を深める
(7/1~8月・栗東市内)

ラグビーチームメイトのラガーマンと
共に休日には楢円球を追う
(7/16・野洲運動公園)

【全国高校野球選手権大会
滋賀大会】開・閉会式と決勝戦
にお招きいただく
(7/8・7/23・皇子山運動公園)

団体全県大会のメイン会場「H.A.T.O.S
スタジアム」オープン式典でお祝いをする
(5/31彦根市)

教育・文化スポーツ常任委員会
行政調査(7/25)

特別支援学校(三雲養護)の教育環境改善と国際バカロレア授業支
援(虎姫高校)について現場視察する

JRAの馬運車業界の
現状を各企業さん
から拝聴する
(7/1・栗東市内)

県消防操法訓練大会で
栗東市消防団の活躍を激励する
(7/30・県消防学校(東近江市))

中学生広場・栗東市大会
で未来ある若者の夢や
志を拝聴する(7/8・さくら)

くのり学 6/24 関西広域連合議会 6月臨時会で文化行政と観光振興について質す



(於:大阪中ノ島センタービル)

三日月連合長・西脇副連合長(京都府知事)に問う

- 文化庁の移転を契機とする国土双眼構造の実現と文化行政のあり方について
- コロナ後のインバウンド(観光振興)について

西脇副連合長に問う

三日月連合長に問う

チームしが県議団

会派ニュース



チームしが県議団
〒520-8577 大津市京町4丁目1-1 県庁本館2階
TEL/077-528-4035 FAX/077-510-6520
MAIL/info@knw.jp

発行責任者 / 今江政彦 編集責任者 / 小川泰江

[6月定例会議 代表質問]



4月に滋賀県議会議員選挙が行われ、**新**たな任期が始まりました。チームしが県議団は「生活者、納税者、消費者、働く者の視点・立場で政策実現に取り組む」ことを基本姿勢とする議員が集まった会派です。新しいメンバーを加えて、新たな体制でのスタートとなりますが、これからは、少子化をはじめとする様々な社会課題の解決に向けた政策提言を行うことで、県民福祉の向上と県政の発展に全力で取り組んでまいります。引き続きの皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

チームしが県議団 一同



代表質問に立つ 今江政彦 議員

「チームしが 県議団」を代表し、今江政彦議員（近江八幡市竜王町選出）が質問しました。

6月定例会議の代表質問の項目

- 基本構想・行政経営方針と北部振興について
- 防災について
- 文化遺産について
- 琵琶湖博物館について
- 森林政策について
- アフターコロナについて
- 子ども・子ども・子どもについて
- 農業政策について
- 公園の魅力向上について
- 教育行政について
- 警察行政について

動画も
ご覧ください



アフターコロナについて

Q コロナ禍の経験を踏まえ、今後の新興感染症等に応じてどのように備えるのか。

A これまでの対応を踏まえ、医療や介護の現場の意見を聴きながら「感染症予防計画」の改定に取り組む。また平時からの備えとして、医療機関等とあらかじめ協定を締結し、有事の際に速やかに対応できるよう新たに協議会を設置し、丁寧に協議を重ねていく。また、科学的、技術的な中核機関となる衛生科学センターの機能強化を図るとともに、新興感染症等に対応できる人材の育成にも取り組む。

衛生科学センターの整備計画

老朽化が課題となっていたセンターは、現在の御殿浜から草津市笠山に場所を移して移転新築される計画となっている。整備費は約26億円。令和9年度の供用開始予定。



Q 県内における新型コロナウイルス罹患後症状（後遺症）の現状と課題、今後の対応について伺う。

A 昨年度行った調査では、倦怠感や嗅覚障害などの後遺症状に悩まれる方が県内にも一定数いることを把握した。その後、専門外来の設置等により医療提供体制を確保したが、受診・相談センターに寄せられる罹患後症状に関する相談では、「診療可能な医療機関を教えてください」というものが多くなっている。このため、県ホームページに掲載した罹患後症状を診療される医療機関リストの拡充を図るとともに、新たな知見等の収集に努め、県 SNS などの媒体も活用して情報発信を行っていく。

Q 「しが割」キャンペーン第3弾では、第1弾および第2弾の課題を踏まえ、どのように対応するのか。

A 第1弾、第2弾では、事業者からは「価格帯の低い小規模な店舗で利用されにくかった」などの声、また利用者からは「割引券の取得が先着順なので利用できなかった」などの声があがった。このことを踏まえ、第3弾においては、割引券を分割して利用できるようにするとともに、利用可能期間を1週間から3週間に延長するほか、割引券の取得方法を抽選方式に変更することにした。

子ども・子ども・子どもについて

Q 子ども施策に関する予算の考え方および今後の具体的な取り組みを伺う。

A 国の予算を十分に活用するとともに、県独自の財源である子ども・若者基金も活用しながら、子ども施策の充実を図っていく。併せて、今年度設置した子ども政策推進本部でも子ども施策にかかる財源について必要に応じて検討する。具体的な取り組みとして「子どもの医療費助成制度」は、地域によって医療サービスに差が生じることがないように、市町の意見を聞きながら、制度の拡充を検討していく。

子ども医療費助成制度の拡充

チームしが県議団として、これまでから重ねて提言してきた「子ども医療費助成制度の拡充」は、2022年の知事選挙で知事の公約集に盛り込まれた。以降、検討が進められており、7月18日に県首長会議で県の拡充案が示された。県内の首長からは様々な意見が出されたが、制度の拡充の方向について異論はない。現状の県の提案は高校生世代への支援を行うというものとなっている。

琵琶湖博物館について

Q 破損した水槽の現時点での原因検討状況と他の水槽の状況について伺う。

A すでに展示の再開をした水槽については現状で最大限、安全確保が図られている、また、破損が危惧される一部の水槽については、アクリルパネルの交換により安全が確保できる、との第三者委員会の評価をいただいている。破損原因については、外部機関の調査をもとに、第三者委員会で議論しており、現状は複合的な要因により破損したと推定されている。

Q 水槽の本格的な再開に向けたスケジュールと、水槽の再整備に向けての考えを伺う。

A 破損した水槽を含め一部の水槽は、安全面をさらに重視しながら、展示方式の再設計を行ったうえで再整備の必要があるため、再開時期は来年度末を目指す。安心して来館いただけるよう取り組む。再整備の際、安全性に加え、新たな工夫を凝らし、より一層、琵琶湖の価値を再認識し、愛着を持っていただける展示にする。

琵琶湖博物館 2023年2月、琵琶湖博物館のピワコオオナマズ展示水槽の破損事故が発生した。人的被害はなし。現在、原因究明のための調査が進められている。破損した水槽を含む一部の水槽以外は展示を再開しているが、完全復旧には至っていない。ちなみにピワコオオナマズはバックヤードにて飼育中。

